

# 大分県地方史第一五〇号〜二〇〇号目録

## ◆第一五〇号◆（創立40周年記念特集）

ごあいさつ

四十周年記念号刊行に当たって……………会長 渡辺 澄夫

### 論 説

首長の原像―その〈突出〉の構造をめぐる…後藤 宗俊

大友氏の守護職に関する一試論……………三重野 誠

天正十五年の黒田氏による豊前国検地……………佐藤 満洋

春秋櫻・橋爪兼太郎の言説

―『大分新聞』社説の大正デモクラシー…野田 秋生

### 記念講演

日本キリシタン教会と豊後

―発信文書からみた日本キリシタン教会における

豊後の位置及び大友宗麟受洗に関して

……………五野井隆史

### 会員名簿

大分県地方史 第一〇一〜一四九号目録

大分県地方史著者別一覧

### 論 説

大分県における満州分村移民の成立

―佐伯村建設を中心にして……………矢野 徳弥

地租改正にともなう字小名の整理について

―玖珠郡引治村を中心に……………佐藤 節

大分県のムラ規約について

―民俗研究の視点から……………小玉 洋美

### 研究ノート

波多氏とキリスト教との接点

―波多氏の性格の一側面……………大津 祐司

### 研究動向

「地方史研究と歴史教育」サマーセミナーの記録

……………実行委員会

芸備地方史研究会40周年記念大会に参加して…安田 晃子

### 会 報

四十周年記念大会の概要

◆第一五二号◆

論説

大分県出土の古鏡について(一)

―出土地名表……………高橋 徹

九重町の中世城郭遺構と

城跡周辺に残る地名・屋号について……………中斐 素純

歴史ノート

ほうちよう管見……………岡部富久市

資料紹介

『文久三亥年若殿様昌服公御帰城中国路手控』

……………松山 均

◆第一五三号◆

論説

三聖寺領豊後国大野荘の成立と伝領に関する一試論

……………緒方 英夫

近世末期における農民動向

―特に農村立ち出の無宿をめぐって……………後藤 重巳

「田舎新聞」の時代

―明治期大分の新聞研究I……………春田 国男

研究ノート

大友宗麟の茶ノ湯についての一考察……………野口 裕熹

史料紹介

出征日誌(一)……………藤原 豊

陣中日誌(二)……………辛島 恒生

◆第一五四号◆

論説

中世における「山」の開発と環境

―国東半島地域の山の開発を事例として……………飯沼 賢司

日田盆地三隈川南岸の考古学からみた開発史……………田中 裕介

国東桂川上流域の開発史……………小柳 和宏

会報

◆第一五五号◆

論説

『豊後国風土記』研究史序論……………西別府元日

神隠しと民俗文化……………牧野 裕全

研究ノート

田能村竹田と海外情報……………田本 政宏

研究動向

地方史研究と歴史教育の接点

—「地方史研究と歴史教育」サマーセミナー参加記

佐藤 晃洋

調査報告

梅牟礼城跡における考古学的調査……………原田 昭一

玖珠町角牟礼城跡の発掘調査……………渋谷 忠章

府内城三ノ丸北口跡の発掘調査速報……………吉田 寛

国指定史跡「岡城跡」の保存整備事業について

佐伯 治

論説

◆第一五六号◆

大名の御代始誓紙について

—熊本藩主細川治年の場合……………佐藤 満洋

佐伯藩時代の矢野竜溪の身辺……………野田 秋生

大分県における氏子調の展開と地域社会……………長野 浩典

研究ノート

松栄山について(上)……………小深田盛行

会員便り

日韓シンポジウムを終えて……………清水 宗昭

研究ノート

松栄山について(下)……………小深田盛行

◆第一五八号◆

論説

宇佐大宮司職世襲化と宇佐公則……………緒方 英夫

真名野長者近世物語本の成立に関する一考察……………芦刈 政治

研究ノート

大塚八幡宮考……………大塚 主

書評

『中世のムラ』を読む……………渡辺 澄夫

『中世の風景を読む』No.七「東シナ海を囲む中世世界」

……………玉永 光洋

論説

◆第一五七号◆(中・近世城郭特集二)

大分の城郭研究メモ一

—城郭から見た大友権力と玖珠……………玉永 光洋

史料紹介

B 29 弥生町（旧明治村）墜落始末……………小野 英治  
会報

◆第一五九号◆

論説

土佐山内氏豊後国化粧料について……………渡部 淳

宇佐高村と中世雑器生産……………小柳 和宏

中世の由布院

―戸次氏を中心として……………甲斐 素純

史料紹介

明治二年「岡藩民一揆見聞書」（その二）……………芦刈 政治

県内地域史研究会紹介

玖珠郡史談会

◆第一六〇号◆

論説

壬午軍乱と対アジア観

―紫漢会を中心にして……………長野 浩典

戦国期豪商の存在形態と大友氏……………鹿毛 敏夫

研究ノート

大分県における記録史料の保存・利用

―その現状と可能性……………佐藤 晃洋

研究動向

「地方史研究と歴史教育」サマーセミナーの記録

……………サマーセミナー実行委員会

県内地域史研究会紹介

宇佐の文化財を守る会

◆第一六一号◆

論説

沙門法蓮についての覚書……………後藤 宗俊

宇佐宮放生会を読む……………飯沼 賢司

国領豊後国海部郡柴山村について……………渡辺 澄夫

県内地域史研究会紹介

佐伯史談会

◆第一六二号◆

論説

「田舎新報」の出現

—大分の新聞研究Ⅱ……………春田 国男

士族授産会社 四山社と旧直入郡の蚕糸業（上）……………鳥養 孝好

研究ノート

売払われた拝領屋敷

—豊後府内藩江戸中屋敷放出の背景……………平井 義人

史料紹介

昭和四年 真木大堂仏像解体修理報告書……………河野 了

県内地域史研究会紹介

別府史談会

会報

◆第一六三号◆

論説

豊後府内城天守について……………小野 英治

士族授産会社 四山社と旧直入郡の蚕糸業（下）……………鳥養 孝好

研究ノート

豊後国府推定地周辺の発掘調査Ⅱ

—羽屋・井戸遺跡とその周辺の調査から……………坪根 伸也・塩地 潤一

史料紹介

『稲葉家文書』収蔵報告……………平井 義人

県内地域史研究会紹介

杵築郷土史研究会

◆第一六四号◆（近代教育史特集）

文化庁の地域文化功労者表彰に当って……………会長 渡辺 澄夫

論説

明治中期・大分県会における中学校論議

—中学校設立問題を中心として……………永添 祥多

明治生まれ日赤看護婦の履歴書を読む……………古庄ゆき子

研究ノート

大正期の中等教育

—大分県における中等教育の広がり……………吉田 豊治

史料紹介

明治十三年中 鶴田学校学費明細帳……………佐藤 満洋

学徒勤労働員関係新聞広告……………吉田 豊治

県内地域史研究会紹介

大分市大南地区文化財同好会

事務局だより

表彰式参加記

◆第一六六号◆(渡辺澄夫先生追悼号Ⅰ)

弔辞……………賀川 光夫・乙咩 政己

渡辺澄夫先生略歴

研究の足跡

渡辺澄夫著『畿内庄園の基礎構造』……………阿部 猛

『豊後国莊園公領史料集成』八(下)……………末広 利人

業績一覧(著書・論文・監修・随想・その他)

渡辺先生の思い出……………芥川 龍男

芦刈政治・飯沼賢司・石井 進・大塚 主・緒方英夫

尾登一信・小野英治・甲斐素純・河野泰彦・神崎信博

久保トミ子・後藤重巳・佐藤満洋・秦 政博・新川登龜男

外山幹夫・中野幡能・西別府元日・狭間 久・橋本操六

三木俊秋・吉田豊治

大分県地方史研究会発足四〇周年を迎えて

―その歩みと課題……………渡辺 澄夫

論説

宇佐国造について……………河野 泰彦

大友能直の三ヶ国守護……………中斐 素純

近世農民と家

―幕府領直入郡を中心に……………上杉ひろみ

大分県における明治十二年のコレラ流行と民衆

……………長野 浩典

県内地域史研究会紹介

大分の石橋を研究する会

研究会活動・その他

開発史研究会

◆第一六七・一六八合併号◆

(渡辺澄夫先生追悼号Ⅱ)

一周忌にあたって……………豊田 寛三

一周忌特集号の発刊にあたって……………飯沼 賢司

論説

比叡山「長日法華不断経」と宇佐宮「長日法花不断経」

緒方 英夫

日田大蔵氏の租・大蔵永季について……………西別府元日

宇佐宮社僧御家人智仁とその一族

―大神氏出自の御家人を中心として……………乙咩 政己

戦国大名大友氏の蔵経宮……………鹿毛 敏夫

太閤蔵入地と代官支配……………橋本 操六

大名の隠居・家督願について

―その準備と留守居……………佐藤 満洋

大分県における専門学校誘致について

―高等工業学校と医学専門学校……………吉田 豊治

寛永二年の豊後国曲村検地について……………外園 豊基

調査ノート

日田地域中世廃寺考……………長 順一郎

◆第一六九号◆

論説

太平洋戦争末期における沖繩住民の疎開と大分

……………長野 浩典

大分県南部の国道一〇号線における都市化について

―主として弥生町の場合……………矢野 彌生

史料紹介

豊前国宇佐郡元重村鑑帳……………渡辺 達也

県内地域史研究会紹介

大分市大在地区文化財同好会

会報

◆第一七〇号◆

論説

大分県の礫石経……………渋谷 忠章

調査報告

中世城館調査の紹介……………小柳 和宏

中世大友城下町（中世府内町）発掘調査事始め

……………大分市教育委員会駅周辺総合整備発掘調査班

日田の中世墓―近年の発掘調査から……………吉田 博嗣

史料紹介

賀来飛霞より 山路屋への書翰（一）……………西岡 昭

新刊紹介

染矢多喜男著『大分の神楽』……………後藤 正二

県内地域史研究会紹介

大分県石造美術研究会

会報

咸宜園と玖珠……………甲斐 素純

研究ノート

府内城天守復元考……………三ッ股正明

藤田茂吉拾遺三四……………野田 秋生

史料紹介

小倉真應よりの告諭……………金丸 吉郎

新刊紹介

吉田豊治著『大分県中等学校史の一断面』……………加藤 泰信

◆第一七二号◆

論説

豊後国大野荘の祭祀組織について……………吉良 国光

研究ノート

『新抄格勅符抄』記載の神封について

—宇佐神封を中心に考察……………河野 泰彦

史料紹介

賀来飛霞より 山路屋への書翰(二)……………西岡 昭

新刊紹介

豊田寛三監修『江戸時代 人づくり風土記 大分』……………後藤 正二

◆第一七三号◆

論説

麻田剛立の史料—没後二〇〇周年に際して……………鹿毛 敏夫

報告

上野遺跡群竜王畑遺跡の発掘調査

—豊後国府関連遺跡の発見……………高橋 信武

大分市下郡遺跡群の古代道路状遺構について……………坪根 伸也

研究ノート

大分平野の古代道路遺構と「海部路」の復元……………田中 裕介

◆第一七二号◆

論説

大分県中教院の成立と国民教化運動の展開……………長野 浩典



◆第一七四号◆

大友館保存についてのアピール……………大分県地方史研究会  
論説

宇佐宮神領の成立過程と展開……………橋本 操六  
調査報告

中世府内の館と町  
—最近の調査事例を中心として

研究ノート  
……………高畠 豊・河野 史郎・塩地 潤一

文人達と玖珠

—『玖珠町史』の編纂に合わせて……………甲斐 素純  
史料紹介

賀来飛霞より 山路屋への書翰(三)……………西岡 昭  
会報

◆第一七五号◆

論説  
ザビエルと豊後……………五野井隆史

特集 地方史研究と地域史学習

大分県における地方史研究と地域史学習

—その接点と今後の方向性……………佐藤 晃洋  
地域の歴史を取り入れた日本史の授業……………長野 浩典  
歴史の歴史を学ぶ

歴史の歴史を学ぶ

—歴史(郷土史)関係講座を中心に……………三重野勝人  
博物館と学校教育の連携をめぐる覚書

—大分県立歴史博物館の事例をもとに……………櫻井 成昭  
大分県立先哲史料館における教育普及活動……………安田 晃子

施設紹介

大分県教育庁文化課文化財室

◆第一七六号◆(富來隆先生追悼特集)

富來隆先生略歴

功績調書

著書・論文一覧

追悼文……………入江 秀利

大野保治・加藤泰信・木許正生・河野昭夫・小馬 徹  
古藤田太・佐藤 節・佐藤 巧・竹長賢治・豊田寛三

中野幡能・西村武人・野崎一郎・橋本操六・百留悦臣  
森山和徳・吉田豊治

論説

初代大分県令森下景端(一)……………末広 利人

史料紹介

安東正之日記「槇の葉」抄(一)……………加藤 泰信

◆第一七七号◆

論説

神封物の徴収・管理・運用について

―宇佐神封についての考察……………河野 泰彦

キリスト教の禁止と類族改め

―『玖珠町史』の編纂に合わせて……………甲斐 素純

史料紹介

安東正之日記「槇の葉」抄(二)……………加藤 泰信

論説

武家故実の地方展開に関する一考察(一)

―小笠原家の豊後下向とその契機……………武田 信也

六郷山研究の成果と課題……………櫻井 成昭

史料紹介

「八坂下庄若宮八幡御帳」と八坂下荘

……………飯沼 賢司・牛山 一貴

会報

◆第一七九号◆

論説

咸宜園門人たちの詩社「玉川吟社」に関する考察

……………山本 佐貴

初代大分県令森下景端(二)

―県庁開設と県政機構……………末広 利人

研究ノート

藤田鳴鶴の自由民権概念の形成

―平民意識・文明史論・『孟子』誤読……………野田 秋生

◆第一八〇号◆

報告

- 豊後須恵器窯跡について……………池邊千太郎
- 大分県の登録有形文化財について……………吉永 浩二
- 竹田市の街並み保存の現状と課題……………佐伯 治
- 大分県のシン垣について……………渋谷 忠章
- 研究ノート
- 文化財保護行政と歴史調査の接点を探る
- 土地履歴書の作成を目指して……………小柳 和宏

◆第一八一号◆

論説

- 宇佐宮領の成立過程と展開 (二)
- 附豊後舟生津留島……………橋本 操六
- 戦跡『豊予要塞』の実像を探る……………三重野勝人
- 土佐山内家化粧料千石と粟野村庄屋森家について
- ……………甲斐 素純

研究ノート

- 西南戦争を考古学的にみる
- 宇目町黒土峠の場合
- ……………西南戦争を記録する会 (五十川雄也・江島賢一)
- ……………遠部 慎・佐藤勇次・高橋信武)
- 史料紹介
- 府内御城再築御願一件……………三ッ股正明

論説

◆第一八二号◆

- 武家故実の地方展開に関する一考察 (二)
- 大友武家故実の形成と展開……………武田 信也
- 研究ノート
- 『田舎新聞』の発足をめぐる二三の問題……………野田 秋生
- 宮崎県五ヶ瀬町浄専寺所蔵「大般若経」奥書……………甲斐 素純
- 史料紹介
- 賀来飛霞より山路屋への書翰 (四)……………西岡 昭

論説

◆第一八二号◆

第十四代天台主義海（その一）

— 弥勒寺講師義海について……………緒方 英夫

明治中期における国道県道の改築と石橋の架設

……………岡崎 文雄

聖嶽洞穴の真相

— ねつ造された疑惑……………栗田 勝弘

研究ノート

戦国期における城誘

— 城誘に関する一分析 その二……………三重野 誠

◆第一八四号◆

論説

墓にみる中世から近世

— 豊前・豊後における近世墓のはじまり…原田 昭一

大分県下における近世墓地発掘調査の成果と課題

— 大分市域周辺の近世墓地調査事例を中心に

……………吉田 寛

研究ノート

大分県における近世墓地研究の軌跡と論点

— 最近二十年間の考古学的研究を中心に…田中 裕介

◆第一八五号◆

論説

明治前期の仏堂に関する一考察

— 東国東郡を中心として……………櫻井 成昭

研究ノート

増田宋太郎の「共憂社」結成とその消滅について

……………野田 秋生

大友支族・豊後高崎氏について……………佐藤 末喜

◆第一八六号◆

論説

戦国期大友氏の年中行事と家臣団……………大塚 俊司

『石垣原合戦』の実像を探る……………三重野勝人

研究ノート

豊後・岡藩「咎近例」に見られる

特殊用語「責用人馬」についての考察…長谷川富美子

史料紹介

玖珠郡栗野村銘細帳……………甲斐 素純

◆第一八七号◆

論説

『田舎新報』の対朝鮮・対清論調

―壬午軍乱・清仏戦争・甲申事変期の…野田 秋生

女性筆頭人と村社会

―豊後国日田郡五馬市村を素材に…内田 鉄平

研究ノート

中世 日田の武士団と村落……………長 順一郎

西南戦争の研究

……………別府大学史学研究会学生会近現代史研究室

◆第一八八号◆

論説

戦国大名大友氏の「方分」について

―他国支配機構に関する基礎的研究……………八木 直樹

大友氏領国における公領の成立と展開

―大友「国家」の確立と関連して……………梅野 敏明

大名小川佐馬助と「豊後国慶長国絵図」……………甲斐 素純

沖繩疎開と大分県庁

―昭和十九年七月〜十月……………武田 伸也

◆第一八九号◆

論説

三重大原台地の古代直線道

―主に地理資料と景観から想定……………波津久文芳

「宇佐宮古図」の成立について……………鈴木 隆敏

中世城館から見る大友氏の領国支配

―「切寄」を事例として……………吉本 明弘

史料紹介

天瀬町・山田家文書「御用談記」について(上)

……………日隈 亨

◆第一九〇号◆

論説

西南戦争と大分県……………三重野勝人

史料紹介

稲葉雍通「入邦記」……………長谷川富美子

天瀬町・山田家文書「御用談記」について(下)

……………日隈 亨

◆第一九一号◆(特集『文化財の保護と活用』)

論説

大分県の中世城館

―その保存と活用について……………渋谷 忠章

大友氏遺跡を活かしたまちづくりへの取り組み

……………玉永 光洋

日田市豆田町伝統的建造物群保存地区の

概要と保存の取り組みについて

……………今村 華子・吉田 博嗣

文化財保護の軌跡と文化財保護法

―地域の視点から……………後藤 宗俊

◆第一九二号◆

(五〇周年記念特集『市町村合併と文化財のゆくえ』)

シンポジウム『市町村合併とアーカイブズ』

パネラー 神 繁司・後藤 清・菊田 徹

保坂裕興・甲斐素純・末廣利人

コーディネーター 飯沼賢司・平井義人

特集号「市町村合併と文化財のゆくえ」の趣旨について

論説

現代アーカイブズ事業再論……………末廣 利人

町村会議事録と「明治のむら」……………長野 浩典

熊毛支所文書整理に携わって……………加藤 泰信

日出城鬼門櫓と県内城郭建築遺構……………三ッ股正明

記録史料の保存利用と歴史教育の接点を求めて

―「情報連携」から「行動連携」へ……………佐藤 晃洋

文化財保護行政について……………甲斐 素純

南海部郡役所の文書廃棄と移管……………武田 信也

歴史遺産の未来……………近藤 晃弘

歴史研究の場を一般市民の手に……………梅野 敏明

―今こそ、草莽決起の時  
シンポジウムの感想(アンケートの意見欄より抄録)

◆第一九三号◆

(五〇周年記念特集号『五〇年のあゆみ』)

大分県地方史研究会創立五〇周年にあたって

……………会長 豊田 寛三

大分県地方史研究会の五〇年を振り返って……………橋本 操六

回顧大分県地方史研究会五〇年……………後藤 正二

大分県の民俗学の歩みと『大分県地方史』……………小玉 洋美

大分県地方史研究会創立五〇周年によせて……………佐藤 満洋

『大分県地方史』と考古学

—大分県地方史研究会五〇年を振り返って

……………後藤 宗俊・真野 和夫・渋谷 忠章

地方史と中野幡能……………飯沼 賢司

研究ノート

中津市校の高田「分校」について……………野田 秋生

史料紹介

明治二十一年の市制・町村制と玖珠郡・日田郡

—新町村名選定事由を中心として—(その1)

……………甲斐 素純

大分県地方史研究会の動向(昭和二十九年〜平成一五年)

◆第一九四号◆

論説

元亀年間における大友氏の政治的・軍事的動向

—元亀三年伊予出兵の検討を中心として—

……………松原 勝也

雪舟・狩野永徳と豊後大友氏

—絵師からみた「大友文化」—……………鹿毛 敏夫

中津藩海防論の中の福沢兄弟

—附 嘉永六年奥平大膳太夫の「開国」上書—

……………野田 秋生

会報

◆第一九五号◆

論説

民衆と大分県の西南戦争……………三重野勝人

椎葉山—考古学的に調査した戦場の一例—……………高橋 信武

報告

竹田市における西南戦争戦跡……………佐伯 治

史料紹介

明治二年の市制・町村制と玖珠郡・日田郡

―新町村名選定事由を中心として(その2)

……………甲斐 素純

◆第一九六号◆

論説

第十四代天台主義海(その二)……………緒方 英夫

明治・大正期に中等工業教育に尽くした人物

―臼杵出身の初代徳島県立工業学校長吉田佐次郎

……………吉田 豊治

史料紹介・研究ノート

大分県出身の屯田兵たち……………小泊 立矢

◆第一九七号◆

論説

文化財保護について考える……………甲斐 素純

在地性城郭と非在地性城郭について……………中村 修身

大友氏館跡出土土器の層位学的検討……………上野 淳也

慶長期豊前における細川氏の城郭政策と端城普請

〔豊後国高田城普請を中心に〕……………福永 素久

史料紹介

豊後岡藩三佐町・港絵図について

……………後藤 重巳・上原 翔平・串間 聖剛

中野 正裕・野間 聡

◆第一九八号◆

論説

近世村社会における村医者の活動

―島原藩豊州御領の事例について……………内田 鉄平

府内藩の災害復興対策について

―十九世紀を中心にして……………松川 清香

◆第一九九号◆

論説

岡藩の「鷹匠」について……………豊田 寛三

「神力」小考―明治期宇佐平野の地主と稲……………櫻井 成昭

秀忠大御所期の豊後府内目付について(上)……………入江 康太



論説

◆第二〇〇号◆『先史考古学特集』

日本考古学における丹生遺跡と早水台遺跡……綿貫 俊一

大分県における縄文時代研究の動向（年代測定研究）

……遠部 慎

大分の弥生時代はどこまでわかったのか

（大野川上・中流域弥生社会再考）……小柳 和宏

大分平野出土の石包丁の地域性……萩 幸二

秀忠大御所期の豊後府内目付について（下）……入江 康太

会報